

こんにちは!

# 民生委員児童委員です



## 支え合いの心で 活力ある地域づくり

市場地区は、鶴見川と川崎市に挟まれた場所に位置しており、平坦な土地で徒歩や自転車での移動がしやすく、川崎駅周辺も生活圏となっています。地区内には旧東海道が通り、箱根駅伝の鶴見中継所があることでも知られています。現在、人口は約20,000人。10の自治会町内会で構成され、23人の民生委員児童委員が活躍しています。

市場地区は長年にわたり福祉活動が盛んで、私たち民生委員児童委員はその中心的な役割を担っています。誰もが暮らしやすい地域を目指し、子育て支援、高齢者支援、お祭りやスポーツ大会など幅広く活動を展開しています。特に年間を通じた高齢者向けの「ほがらか教室」は四半世紀にわたり続く看板行事で、認知症予防や体操、バスハイク等、毎回大勢の方が参加されます。

障害のある方への支援も積極的に行っています。障害者やその家族等が高齢になると、外出が難しくなり地域社会との関わりが減る等、それまで以上に生活上の不安や課題が出てきます。地域とのつながりが深まるような関係づくり、身近な相談支援の体制づくりが必要と考え、障害のある方とカラオケ大会や成人式等の行事を通じて交流し、普段から顔の見える関係、信頼関係づくりを大切にしています。



障害のある方と一緒に防災訓練

防災訓練にも参加していただき、知っておくべき配慮について学ぶとともに、一緒に訓練を行うことで、互いに理解し、信頼し合う

神保 修治 (民生委員児童委員)  
横浜市鶴見区  
市場地区民生委員児童委員協議会



関係が生まれています。

その他、災害への備えとして、地域の皆さんと連携した災害時要援護者の見守り活動に取り組んでいます。災害時に頼りになるのは隣近所の助け合いであり、日頃からの地域のつながりが「減災」につながります。特に自力での避難が難しい方にとって、地域の支援は不可欠です。市場地区では、災害時要援護者の名簿を「情報共有方式」(\*)により作成しており、対象となる方の95%が名簿に登載されています。民生委員児童委員に加えて「訪問員」も見守りを行っています。「訪問員」とは、個人情報に関する研修を受け、区から訪問員証を交付された地域の方々に、戸別訪問、地域内での声掛けなどを行っています。訪問員との連携が、地域の支援体制づくりや支援のノウハウの蓄積につながっています。

民生委員児童委員活動は、地域を支える非常にやりがいのあるものですが、ニーズが複雑多様化している今日、私たちが地域の福祉保健の全てを抱える時代は終わったと考えています。先述した「訪問員」のように、民生委員児童委員が中心となってお手伝い役を増やしていく取り組みを着実に継続していくことにより、将来の民生委員児童委員が登場してくれると期待しています。  
\*行政が対象者に通知し、拒否の意思表示をしなかった人の個人情報を、協定を締結した自治会町内会等に提供する

民生委員児童委員は、地域住民の立場に立って活動を行うボランティアです。心配ごとや困りごとと一緒に考え、関係機関につなぐとともに、地域づくりに取り組んでいます。

(横浜市民生委員児童委員協議会)

民生委員児童委員制度は、平成29年で100周年を迎えます。左上のマークは、100周年シンボルマークです。

一般家庭から大型テレビまで最新のエレクトロ技術により皆様の安心と安全を提供致します。防犯カメラや新型【AED】も取扱っております。

**京浜警備保障株式会社**

代表取締役社長 **岡本 誠一郎**

本 社 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-8-8 第一川島ビル  
(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1528

一般社団法人

**神奈川県福祉研究会**

福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理 事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)

同 辻村 祥造(☎045-311-5162)

同 西迫 一郎(☎046-221-1328)

同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい  
デザイン・印刷・ホームページ制作



**きかん印刷**  
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12  
営業部 TEL045(785)1700代 FAX045(784)8902  
制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588  
http://www.kki.co.jp/